

駒ヶ根市文化財

名称	ハッチョウトンボ
種別	昆虫
指定	市・指定昆虫(平成 16・7・1)
所在地	赤穂南割
説明	<p>日本に生息するトンボ約 200 種の中では最小のトンボで、腹長 10～14mm、後翅長 13～15mm で、ほぼ一円玉と同じ大きさである。</p> <p>アジア南部、中国大陸から朝鮮半島、台湾、ニュージーランドまで広く分布し、日本では北海道を除く、本州、四国、九州に分布している。</p> <p>分布範囲は広く、湧水等(ゆうすい)等による湿地や休耕田などに生息するが、大きな池や湖ではほとんどその姿を見ることはない。</p> <p>駒ヶ根市では南割公園に生息し、駒ヶ根市の昆虫に指定されており、保護活動が実施されている。</p> <p>南割公園では、羽化の始まる 5 月中旬ごろから 6 月下旬にかけて 1,000 匹近くの発生を見ることもあり、観察に来る人も多く見られるようになった。雄(♂)は羽化後一週間で赤くなりはじめ、成熟すると真っ赤な赤トンボとなる。</p> <p>ハッチョウトンボは、土地改良事業など環境の変化に弱く、(注 1)環境指標昆虫に選ばれ、日本の各地の里山で保護されている。大切にしたいのは、ハッチョウトンボとともに、そのトンボの生息する駒ヶ根市の自然環境である。</p>

1) 環境指標昆虫

環境調査のため選ばれた10種類の昆虫。日本に生息する昆虫類のうち、分布域が広く、比較的なじみがあり、平地から産地までの良好な自然環境に生息する、環境の指標となる昆虫が選定される。



ハッチョウトンボ
(右上:オス 左下:メス)